

総 説 (平成21年度横浜市立大学医学会賞受賞研究)

## Opening Wedge High Tibial Osteotomy による 内側型変形性膝関節症と膝骨壊死に対する外科的治療

竹 内 良 平

横浜市立大学医学部 整形外科学

**要 旨**：内側型変形性膝関節症や膝骨壊死に対する opening wedge high tibial osteotomy (OWHTO) は、手術侵襲が少なく早期より荷重歩行訓練が可能な関節温存手術である。骨切り部のオープンスペースに代用骨オスフェリオン60を挿入し、内固定材には TomoFix<sup>®</sup>を用いることで、初期固定性が飛躍的に増大した。力学試験では、人工骨を使用することでプレートに生じるストレスが有意に軽減することを確認した。術後1週より1/2体重負荷歩行を、2週から全荷重歩行が可能である。術後2年以上経過した72例（男性15, 女性57）、88膝の成績を調査した結果、日本整形外科学会膝関節疾患治療判定基準（JOA score）は、術前平均65点から術後94点に大きく改善し、72例中の52例が、術後に正座が可能となった。合併症は、表層感染が1例、骨切り部の遷延癒合が2例、脛骨プラトー骨折が2例などであったが、再手術などの重篤な合併症はなかった。